

全国高等学校ビブリオバトル2024
鳥取県大会の開催結果について

全国高等学校ビブリオバトル2024鳥取県大会の開催結果について

1 概要

- 本を主体としたコミュニケーションゲームであるビブリオバトルを通じて、高校生の表現力・コミュニケーション能力の養成と読書への関心を高め合う新たな読書活動推進の場の提供を目的として毎年開催（今回で8回目）
- 県内の高等学校8校（11名）の高校生が出場（昨年度は8校13名）
- 湯梨浜学園高等学校からの出場者が紹介した本がチャンプ本に選ばれ、東京で開催される全国大会（令和7年1月26日）に出場予定

2 日時 令和6年12月8日（日） 午後1時～午後3時30分

3 会場 倉吉体育文化会館 大研修室他

4 発表本

会場	発表順	発表本（タイトル / 著者名・出版者名）	決勝進出本	発表者所属
予選①	1	『SNSの哲学』（戸谷洋志/著・創元社）		青翔開智高校
	2	『琥珀のまたたき』（小川洋子/著・講談社）	○	湯梨浜学園高校
	3	『近畿地方のある場所について』（背筋/著・KADOKAWA）		鳥取中央育英高校
	4	『400年前なのに最先端！江戸式マーケ』（川上徹也/著・文藝春秋）		鳥取西高校
予選②	1	『近畿地方のある場所について』（背筋/著・KADOKAWA）		倉吉東高校
	2	『浜村渚の計算ノート 9さつめ』（青柳 碧人/著・講談社）		八頭高校
	3	『さよならドビュッシー』（中山七里/著・宝島社）		鳥取西高校
	4	『対岸の家事』（朱野帰子/著・講談社）	○	湯梨浜学園高校
予選③	1	『永遠の0』（百田尚樹/著・講談社）		米子東高校
	2	『ヨモツイクサ』（知念実希人/著・双葉社）	○	湯梨浜学園高校
	3	『虚構推理』（城平京/著・講談社）		岩美高校

会場	発表順	発表本（タイトル / 著者名・出版者名）	チャンプ本	発表者所属
決勝	A	『琥珀のまたたき』（小川洋子/著・講談社）		湯梨浜学園高校
	B	『対岸の家事』（朱野帰子/著・講談社）	◎	湯梨浜学園高校
	C	『ヨモツイクサ』（知念実希人/著・双葉社）		湯梨浜学園高校

5 所感

体調不良者の欠席により昨年度より出場者が減少したものの、自分の思いをしっかりと言葉にして発表する姿が見られるなど本に対する熱い思いが感じられる大会となった。参加者からも、「一人一人が個性的で熱く面白い発表だったと思います。楽しむことができました。これからも色々な本を読み、豊かな読書経験を積み上げてほしいです」「今回の大会は、これまでで一番レベルの高い内容だったと思います。どの本も読みたいと思えるものばかりでした」「発表も皆さんそれぞれよく考えておられて上手でしたが、それ以上にその本が好きで読んで欲しいという気持ちが伝わってきて、なんだか嬉しく思いました」などの感想が寄せられ、とても満足度の高い大会となった。今後も高校生の読書推進の契機となるよう継続して開催するとともに、参加校と観覧者の増加を図っていきたい。

6 当日の様子



【チャンプ本発表者の声】

この本を選んだのは、テーマや内容が多くの人に共感してもらえと思ったからです。家事や育児を通して、生活の中で感じる孤独が、リアルに、繊細に描かれているところが魅力です。

どの発表者さんのプレゼンも聞き応えがあり、自分の知らないたくさんの本の魅力を知ることができたので、参加してよかったと心から思いました。鳥取県予選に参加された他の出場者さんの思いも背負うつもりで、少しでも良い結果を持ち帰ることができるよう精一杯頑張ります！